

クラウドアドレス帳、名刺管理

- ✓ どこでも安心してアドレス帳情報、名刺情報を閲覧



【屋外】



【オフィス】

BEFORE

個々の社員がそれぞれお客さま情報を管理

- お客さまの連絡先情報は社員が所有しているスマートフォンに登録されており、**紛失時の情報漏えいリスクあり**
- 外出中にお客さまの連絡先がわからなかった

個々の社員がバラバラに業務

- お客さまの連絡先情報を個別にストックしているため、**特定の社員のみがお客さま対応を実施**

AFTER

クラウドで一括管理(セキュリティリスク低減)

- お客さまの連絡先情報は、クラウドに一括保管され、**社員が所有しているスマートフォンの電話帳へのお客さま情報登録不要**
- 社内でも外出先でも同じ電話帳が利用可能

社員同士が連携して業務

- 連絡先情報を共有、見える化し、社員同士が連携した**チームとしてのお客さま対応**を実施

プレゼンス、ユニファイドコミュニケーション

- ✓ 電話帳で相手の状況を確認し、相手の状況に応じた効率的なコミュニケーションが可能



利用例：会議中の相手とはトークでやりとり（簡易メッセージ）

BEFORE

社員同士のコミュニケーション不足

- 社員同士で相談して進めたい案件があっても、互いに忙しく、**コミュニケーションのタイミングが合わない**

セキュリティに不安な汎用ツールでコミュニケーション

- 不特定多数が利用するサーバーなどを使っており、情報漏えい、なりすましなどの被害を受ける可能性もある

AFTER

活発なコミュニケーションによる業務推進

- プレゼンスを事前に確認し、トークを活用することで、**社員同士のコミュニケーションが簡易・効率的**に行える

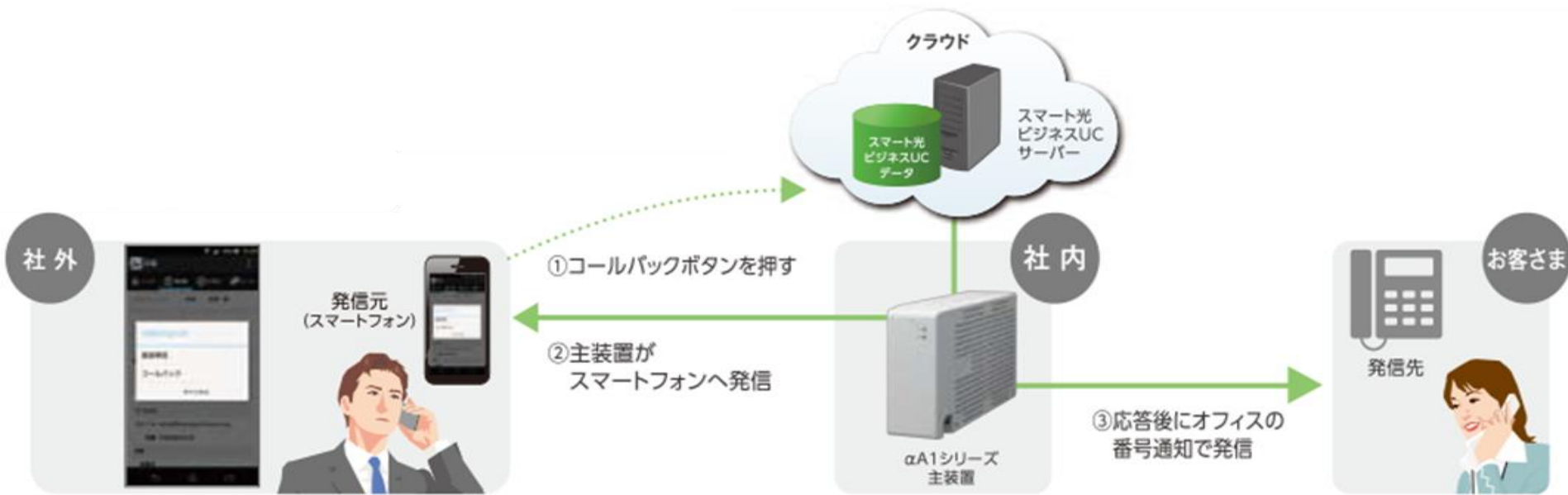
安心な業務専用のツールでコミュニケーション

- 業務専用のメッセージツールであり、なりすましなどの被害を受ける可能性が低い

別紙1 SmartNetcommunity αA1 +スマート光ビジネスUCの利用イメージ③

電話発信

- ✓ 外出先からでもオフィスの電話番号でお客さまと通話が可能



BEFORE

個人/業務用の2台のスマートフォンを保持

- 発信時、相手には**スマートフォンの番号**が通知される
- 会社でスマートフォンの**基本料、通話料を負担**
業務で行う通話は、全て業務用スマートフォンからの発信となるため、基本料、通話料は全て会社側が負担することになる

AFTER

個人のスマートフォンを業務活用 (BYODの促進)

- 発信時、相手には**オフィスの番号**が通知される
- 会社で**通話料のみを負担**
業務で行う通話は、オフィスからの発信となるため、通話料のみ会社側が負担することになる

転送着信ポップアップ

- ✓ オフィスにかかってきた電話の発信元番号を外出先のスマートフォンに転送



BEFORE

AFTER

ビジネスチャンスの損失

- 外出中にスマートフォンに着信があったが、発信元の電話番号がオフィスの電話番号であったため、社内の連絡と勘違いし出なかったところ、実はお客さまからの転送電話であり、**ビジネスチャンスを逃した**
- スマートフォンへの転送可否は**オフィスで実施**

重要な着信の判別が可能 (ビジネスチャンスの拡大)

- クラウドアドレス帳で共有されている電話番号であれば、お客さま名が表示されるため、**外出先でも重要な電話をキャッチ**
- スマートフォンへの転送可否は**いつでもどこでも設定可能**